



第3次 たからづか食育推進計画



宝塚市

令和5年(2023年)3月

はじめに

「食」は、私たちが生きるために欠かせないものであり、おいしく食べ、健全な食生活を実践することは、喜びや幸せをもたらし、生涯にわたって健康で心豊かに暮らすために欠かせないものです。



本市では、「次世代へつなごう！正しい食習慣のバトン！」をスローガンに、平成23年（2011年）に「たからづか食育推進計画」を、平成28年（2016年）に「第2次たからづか食育推進計画」を策定し、市民の皆様一人ひとりが食育への理解と関心を深め、正しい食習慣を身につけ、実践していただけるよう、食育の推進に取り組んできました。

しかし、核家族・単独世帯の増加、少子高齢化、働き方や暮らし方の変化、食に対する価値観の多様化等を背景に、食への関心の薄れ、食生活の乱れや栄養の偏り等に起因する肥満ややせ、若い世代の朝食の欠食など、多くの課題が生じています。

このような背景を踏まえ、さらなる食育の推進を図るため、「第3次たからづか食育推進計画」を策定しました。

第3次計画では、食育の推進は持続可能な社会の実現に向けた礎になる取組であることから、農に触れ農を知る体験を増やすこと及び食品ロスを意識することを新たな目標に加え、持続可能な社会の実現に貢献することや、新しい生活様式やデジタル化に対応したSNSによる情報発信やオンラインによる講座の開催などに取り組んでいきます。一層のご理解・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後に、この計画の策定にあたりまして、多大なご尽力をいただきました宝塚市食育推進会議の皆様をはじめ、アンケート調査やパブリック・コメントにご協力をいただいた市民の皆様、数々の貴重なご意見をいただきました関係機関・団体及び多くの皆様に心より感謝申し上げます。

令和5年（2023年）3月

宝塚市長 山崎晴恵

《 目 次 》

	ページ
第1章 計画の概要	
1 食育推進計画策定の背景と趣旨	1
2 計画の位置付け	2
3 計画の期間	3
4 計画の策定方法	3
第2章 宝塚市の「食」をめぐる現状と第2次計画の評価と課題	
1 市の概況	
(1) 人口・世帯の状況	5
(2) 健康の状況	7
(3) 農業の状況	10
2 第2次計画の評価と課題	
(1) 第2次計画の概要	12
(2) 指標の達成状況(第2次計画)	13
(3) 各施策の評価と課題	15
第3章 第3次計画の基本的な考え方	
1 基本体系	17
2 3つの指針	18
3 6つの施策	19
4 成果を示す指標、重点目標	20
第4章 6つの施策の展開	
1 家庭における食育の推進	23
2 保育所(園)・学校園における食育の推進	26
3 地域における食育の推進と食文化の継承	29
4 事業者における食育の推進	31
5 安全・安心な食の推進	33
6 環境を意識した食生活の推進	34
7 目標に合わせた啓発内容	36

第5章 計画の推進に向けて

1 取組の指標	45
2 推進体制	45
3 新しい生活様式での食育推進	46
4 食育推進を目指したネットワークの強化	46
5 計画の進行管理	46

参考資料

資料1 計画の策定体制	47
資料2 宝塚市食育推進会議	
1 開催状況	48
2 宝塚市食育推進会議委員名簿	49
資料3 食育基本法 前文	50
資料4 食育基本法の概要	51
資料5 宝塚市食育推進会議条例	52
資料6 第3次たからづか食育推進計画策定検討会設置要綱	53

新しい生活様式：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、飛沫感染や接触感染、近距離での会話への対策について、日常生活に持続的に定着させる暮らし方のこと。

個人では、身体的距離の確保、マスクの着用、手洗いをを行うとともに、日常生活では、3密（密閉・密集・密接）の回避を行うこと、働き方では、テレワークやオンラインの活用等が実践例として掲げられている。

SDGs（持続可能な開発目標）：2015年9月の国連サミットで採択された、2030年までに持続可能な世界の実現を目指す国際目標のことで、17の目標と169のターゲットから構成されている。

第6次宝塚市総合計画において、まちづくりの方向性は、SDGsの理念と重なるものであり、その推進はSDGsの推進にも資することから、総合計画とSDGsとを一体的に推進することとしている。

学 校 園：幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校をまとめて表す言葉。